

2-4. 地権者・市民への合意形成・情報発信に関する取組み

取組み方針①：地権者、市民誰もが宜野湾市のまちづくりを学べ、考える事のできる場をつくる。

取組み方針②：跡地利用のまちづくりにおいて大切な事は何かを学び、まちづくりへの参画を促すための場をつくる。

(1) まちづくり講座の企画

1) 目的

市民、地権者及び、若手の会、NB ミーティングに対して、学習機会の提供・まちづくりへの参画を促す事を目的とする。なお、新型コロナウイルス感染症の拡大状況を鑑みて、開催は次年度とする。

① 普天間飛行場跡地利用に関する学習の機会を提供する

今年度、若手の会では、振興拠点ゾーンの機能像と空間像について、地権者及びまちづくりの視点を踏まえ検討を進めている。NB ミーティングでは、現在のまちがどのように変化していくのかを紐解き、跡地利用に向けて地域の理解を深めている。まちづくり講座において、こうした活動と関連性を持ちつつ、専門家の講義を聴く事で、参加者が主体的に、跡地利用のあり方、将来像を考えるきっかけを作る。

② 跡地利用に対する関心を高め、合意形成活動への積極的参加を促す

まちづくりを学ぶ事で、跡地利用への関心を高め、地権者及び市民1人1人が主体的に行動する「まちづくり人材」の育成に繋げる。

2) 対象者

市民、学生、地権者及び若手の会、NB ミーティングの会員とする。特に、普天間飛行場返還後のまちづくりを見据えて、大学生等将来のまちづくりの担い手となる若い世代を対象とする。

3) テーマ

普天間飛行場跡地利用を考えるまちづくり座談会
～エリア価値を高めるまちづくりのすすめ～

4) 開催方法

「オンライン配信（2時間半程度） + 公開収録」

新型コロナウイルス感染症の拡大状況を鑑み、まちづくり講座は原則オンライン講座とする。オンライン配信にはYouTube等の動画配信サービスを利用する。

また、オンラインでの視聴が困難な対象者（受講者）等への対応として、講座の収録を「公開収録」とし、コロナ対策（人数制限、広い会場での一定距離の確保、アルコール消毒、マスクの着用、検温等）を実施した上で、撮影場所での受講を可能とする。なお、公開収録への参加は事前申し込みとする。

5) 周知方法

オンラインでの閲覧を前提とし、広報誌、SNSでの発信及び自治会、大学への案内により周知を図る。

普天間飛行場跡地利用を考えるまちづくり座談会

エリア価値を高めるまちづくりのすすめ

普天間飛行場は、全面返還が合意されており、跡地のまちづくりが求められています。今回は、エリア全体の価値を高める開発を実践してきたまちづくりのノウハウによる座談会を開催します。普天間飛行場跡地のまちづくりに向けた重要な示唆を導きます。

ゲストプレゼンター・コメンテーター

一般社団法人大阪圏エリアマネジメント代表理事
大阪大学コミュニケーションデザインセンター 招へい教授
植松宏之氏

阪急電鉄株式会社 在籍時から、グランフロント大阪 TMO の立ち上げに尽力し、大阪府 BID 発案、日本版 BID 法創設に関与、全国エリアマネジメントネットワーク 副会長を務める

北谷町デポアイランド通り 会長
奥原悟氏

北谷町美浜地区の再開発。デポアイランドエリアと母体となるリゾート用地を購入し、アメリカンビレッジの形成を牽引。地権者の合意形成、民間投資の拡大等を図っている

宜野湾市 基地政策部
多和田次長

コーディネーター

昭和株式会社 開発事業部 営業開発 室長
堀江佑典氏

都市計画に係る各種計画づくりをはじめ、施設並びに公衆等の都市施設の空間づくり。そしてそれら空間と人々のアテンションを結び、持続的な仕掛けづくりに関わる。志願入学者管理大学院 院長 兼 宜野湾まちづくり研究会 会長 兼 委員、(特活) 日本都市計画協会 協会 理事等

収録日 2021 年 **2月18日** (木) **14:00 ~ 17:00**
(入場 13:30 ~ 13:50)

配信日 2021 年 **3月1日** 頃

会場での収録は、公開とし、後日 **YouTube** で配信します。
収録のご観覧または、**YouTube** でご覧いただける方は、いずれも下記 QRコードより申込フォームに必要事項をご記入の上、お申込ください。
13:50分までには必ずお越しください。撮影のため、休憩時間以外の入退室はできませんのでご注意ください。

会場 沖縄コンベンションセンター 会議棟 B
宜野湾市真志喜丁目3-1

主催 宜野湾市 まち未来課

申込方法 昭和株式会社
河村・池村
TEL 098-876-5107

URL
<https://forms.gle/jtoBTHrJGg7HnN8>

注意事項

- ✓ 新型コロナウイルス感染症防止対策の一環として、当日は受付時に検温を行います。
- ✓ ご入場の際は、マスクの着用及び入口付近に設置するアルコール消毒液による手消毒にご協力をお願いします。

まちづくり講座案内チラシ

6) 開催日程（当初予定であり、開催は令和3年度に延期）

開催日時	内容	会場
2月18日（木） 14：00～17：00	普天間飛行場跡地利用を考 えるまちづくり座談会 ～エリア価値を高めるまち づくりのすすめ～	沖縄コンベンションセンター B棟 B5～B7室
3月1日（月）		YouTube上で動画を公開

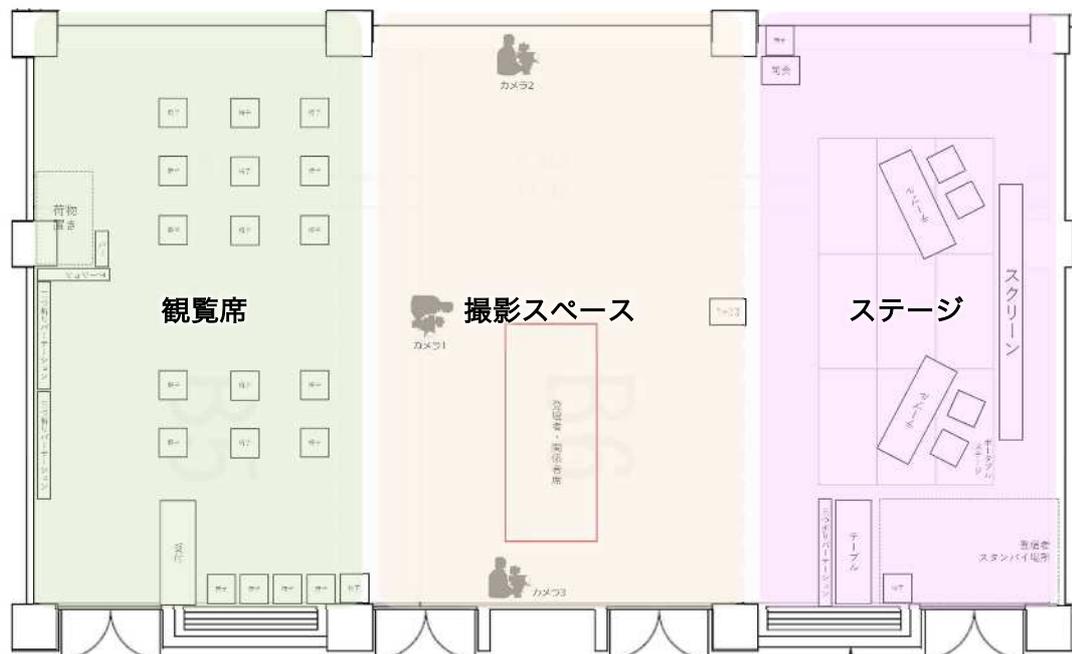
7) 開催場所

撮影場所：沖縄コンベンションセンターB棟 B5～B7室

配 信：YouTube

8) 公開収録について

複数台のカメラを設置し、パネリストや司会、出演者及びスクリーン、観覧席を定点にて撮影。撮影した動画素材を、公開映像として編集・加工を行う。



会場配置イメージ

9) 出演者

①プレゼンター

- ・ 宜野湾市基地政策部まち未来課
- ・ 若手の会
- ・ NB ミーティング
- ・ 比嘉 朝 旬 氏 (一般社団法人 北谷ツーリズムデザイン・ラボ代表理事)

②パネリスト

- ・ 奥原 悟氏 (北谷町 デポアイランド通り会会長)
- ・ 植松 宏之氏 (一般社団法人 大阪梅田エリアマネジメント代表理事 兼 大阪大学コミュニケーションデザインセンセンター 招へい教授)
- ・ 宜野湾市基地政策部

③コーディネーター

10) 講座内容

これまでの合意形成活動の取組を踏まえて、講座におけるパネリストの議論から今後の活動への示唆を得られるよう、以下の内容を予定する。

当日の流れ

【セッション1/オープニング】

- (1) 開会 (コーディネーター、司会進行)
- (2) あいさつ：まちづくり講座の趣旨説明等

【セッション2/イントロダクション】

- (1) プレゼンテーション：普天間飛行場跡地利用のまちづくりについての紹介

- ① 普天間飛行場の返還と跡地利用に向けた検討内容の概要

プレゼンター：宜野湾市基地政策部まち未来課

- ② 若手の会のこれまでの取組みとまちづくりに向けた考え方

プレゼンター：若手の会より選出

- ③ NBミーティングのこれまでの取組み

プレゼンター：NBミーティングより選出

- (2) トーク1

セッション3に繋がる「普天間飛行場跡地利用のまちづくりの課題意識」を引き出す。

◆課題意識①：長期的な視点でどうまちづくりを進めるか？今できる事は？

◆課題意識②：これからのまちづくりに必要な視点は？

【セッション3/プレゼンテーション】

(1) 登壇者紹介：司会進行役によるパネリストのプロフィール紹介

(2) プレゼンテーション

①北谷デポアイランドのまちづくり

(一社)北谷ツーリズムデザイン・ラボ 比嘉 代表理事

②梅田エリアのまちづくり

(一社)大阪梅田エリアマネジメント 植松 代表理事

～プレゼンテーションの主なテーマ・内容～

● 地区の概要

⇒ここ 10 年間の都市再生事業の進捗と今後の進展（ハード整備中心）

● まちづくりの経緯（エリアの価値をどのように高めてきたか）

⇒梅田地区の 100 年の歴史

西日本経済の中心地として、集客力を高める活動に取り組む

①成長プロセスとエリア価値のマネジメントの関係性

長期的な視点でまちづくりを行う中で、社会動向や消費者ニーズ、企業ニーズは変化する。こうした変化に柔軟に対応し、高い不動産価値を持続できるまちのつくり方、あり方を明らかにし、普天間飛行場跡地を検討する上で、重要な考え方への示唆を得る。

②地域性をどのように取り入れたか

普天間飛行場跡地利用を検討する上で、オリジナリティ、地域性をどう捉えて、どう活かすべきか、その効果について明らかにする。

③関わる人や事業者のモチベーションの高め方（経済的論理、達成感、役割・責任等）

まちづくりが長期にわたる中で、どのように関係者のモチベーションを高め、まちづくりに積極的に関わる人や事業者を増やすかに対する示唆を得る。

【セッション4/ディスカッション】

コーディネーター、パネリストによるトーク。

コーディネーターから各パネリストへ質問形式で、セッション3のプレゼンテーション内容をきっかけとした話の掘り下げ、普天間への気づきの内容を伺っていく。

【セッション5/クロージング】

クロージングトーク：コーディネーターより、セッション1～4を通じたまとめ

11) 取組み成果と今後の課題

【取組み成果】

● 「エリア価値を高めるまちづくり」をテーマとした講座開催の企画立案

- ・不動産価値の高いまちづくりを進めてきた実績のあるパネリストによる講座開催までの準備ができた事により、まち全体の価値を高める空間の創出や、エリアマネジメント組織による管理・運営方法の必要性について、知識の習得を図る準備が整った。

【今後の課題】

- ・次年度の開催に向けた準備を今後進めていく必要があるが、講座の周知方法については改めて検討し、より多くの地権者、市民に本講座を視聴してもらう事が望ましい。